

2008. 6月号

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・まち交大賞 国土交通大臣表彰が行われます P 1
- ・多彩な交流舞台《劇場都市かすかべ》を創る P 2～3
～春日部市中心市街地活性化のための課題と取り組み～
- ・会員紹介：関西電力株式会社 P 4
- ・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT） P 5
講演会開催 『低炭素社会と都市』
- ・機構の活動状況 P 6
- ・人事異動のお知らせ P 6

《ハイライト》

- ・まち交大賞 国土交通大臣表彰が行われます
- ・多彩な交流舞台《劇場都市かすかべ》を創る

§ まち交大賞 国土交通大臣表彰が行われます

まち交大賞は、まちづくり交付金情報交流協議会並びに当機構が主催し、国土交通省の後援を受け、都市再生整備計画において①まちづくりを推進するための優れたテーマの設定、②提案事業を活用した画期的なまちづくりのアイデア、③住民の意向の反映や参加の誘導などの計画策定のプロセスの3つの観点から、優良な計画が策定された地区を対象として表彰し、関係者の榮譽をたたえるとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、今後まちづくり交付金を活用したまちづくりが一層推進することを目的として実施するものです。

今回は、第26回「まちづくり月間中央行事」として、国土交通大臣賞受賞者に対し、国土交通大臣表彰が行われます。

まち交大賞の内容等につきましては、7月号に掲載する予定です。

☆まちづくり月間中央行事

1. 日 時：平成20年6月25日（水）13：30～16：30
2. 場 所：都市センターホテル「コスモスホール」
（東京都千代田区平河町2-4-1）
3. 主 催：まちづくり月間実行委員会

まちづくり月間に関しては、国土交通省ホームページにてご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/city05_hh_000001.html



§ 多彩な交流舞台《劇場都市かすかべ》を創る ～春日部市中心市街地活性化のための課題と取り組み～

1. 春日部市の概要

春日部市は、関東平野のほぼ中央、埼玉県の一部に位置し、都心から35kmに位置しています。江戸時代には、日光街道第四の宿場町として栄え、大落古利根川や江戸川など、河川交通の要衝でもあり、街道と河岸により商都として発展しました。

現在は、東武野田線と国道16号が横断し、南北方向には東武伊勢崎線と、国道4号・4号バイパスが縦断し、首都圏における交通の要衝となっています。

人口は約24万1千人で、埼玉県東部の中核を担う都市であり、アニメ「クレヨンしんちゃん」の舞台にもなっています。

また、5月初旬には、樹齢約1200年を誇る国の特別天然記念物の「牛島のフジ」が1メートルを超える藤の房を付け、春日部駅西口にある日本一の長さを誇る藤棚が、市内を藤色一色に彩ります。

国の選択無形文化財に指定されている日本一の「大凧あげまつり」は毎年、5月に行われ、全国的に知られたイベントで、薫風に舞う大凧は、市の貴重な地域資源です。

【藤棚、大凧、クレヨンしんちゃん】



©白井儀人/双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK

2. 中心市街地活性化のための課題

本市は、平成17年に春日部市と庄和町が合併して誕生し、本年3月に、「春日部市総合振興計画」を策定しました。その中で、旧春日部市の中心市街地を都心ゾーンとし、旧庄和町の中心市街地を副都心ゾーンとして位置づけ、両拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を必要として



【春日部駅付近連続立体交差事業イメージ図】

います。また、新市の中心市街地である春日部駅周辺では、鉄道により市街地が東西に分断され、踏切遮断時間も長いことから、慢性的な交通渋滞が発生し、東西交通の円滑化と中心市街地の活性化に支障を来たしています。このため、鉄道高架整備事業をはじめとする市街地再開発事業や街路整備事業などの関連まちづくり事業による総合的なまちづくりが急務となっています。

市の玄関口としての春日部駅周辺の整備にあたっては、美しく品格のある



街並み形成のため、公共施設については、景観形成指針に沿って整備していますが、民間施設についてもルールづくりが必要となっています。まちづくりにおいては、地球温暖化をはじめとする環境破壊に対してCO₂の削減に努めるなど、自然環境と共生する低炭素社会に配慮した都市づくりが求められています。さらに、本市には中心市街地の地理的優位性を活かすための高速道路も必要としています。



【粕壁三丁目A街区市街地再開発事業イメージ図】

以上のことから、中心市街地活性化のためのまちづくり戦略と本市を取巻く広域的な交通網から見た都市戦略という二つの市民を中心とした戦略の再構築が求められています。

3. 現在の取組み

東西市街地の一体化と交通の円滑化のための春日部駅付近連続立体交差事業を基幹事業として、市街地再開発事業や地域振興ふれあい拠点施設など中心市街地の拠点づくりを推進しています。さらに、環状道路の整備による中心市街地における通過交通の排除やフリンジ駐車場の設置による中心市街地への自動車の流入抑制、歩行空間ゾーンの整備、建物緑化など、交通面と沿道利用の両面による総合的な都市環境づくりの計画策定を推進しています。

また、中心市街地との広域的な連携を図るため、国道4号バイパスの4車線化や高規格道路東埼玉道路の整備促進に取り組んでいます

一方、ソフト事業として地域活性化事業では、市民イベント「粕壁エイサーまつり」や音楽イベント「JAZZDAYかすかべ」などが行われ、街なかのにぎわいが戻りつつあります。

また昨年度には、全国都市再生モデル調査では、市内在住の企業OBからなる「まちづくり調査隊」を結成し、活発な調査活動と提言を行い、第10回「まちの活性化・都市デザイン競技」では、対象地区に選定され、市民参加で市長特別賞を選考しアイデアをまちづくり活かすこととするなど、まちづくりの機運も高まっています。



【JAZZDAYかすかべの様子】

4. 今後の取り組み

今後も、未来に向けて持続的発展ができる都市を目指して、春日部市の中心市街地の発展の鍵を握る連続立体交差事業と関連まちづくり事業を着実に進めて、本市の悲願である商都復活を実現するとともに、中心市街地の活性化を進めてまいります。



§ 会員紹介：関西電力株式会社 桃坂コンフォガーデンのご紹介

当社グループがオール電化や光インターネット、ホームセキュリティサービスに加え、看護・介護サービスの提供等、その総合力を結集し、街ぐるみの安全性と快適性を追求した「桃坂コンフォガーデン」をご紹介します。

「桃坂コンフォガーデン」は大阪赤十字病院の建替、集約に伴って生じた用地を利用し、「医療との連携」をコンセプトに新しい街づくりを目指した再開発プロジェクトです。

コンセプトに基づいた応募条件を受け、平成16年に事業コンペが実施された結果、コンフォガーデン4街区のうち、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ街区について「オール電化による街づくり」を提案した関電グループが当選しました。

1. 地区の概要

- ①所在地 大阪市天王寺区筆ヶ崎町50番地他
- ②地区面積 約1.7ha
- ③各街区の概要

街区	事業者	名称	主要用途・戸数	敷地面積	備考
Ⅰ街区	関電不動産㈱	ウェルライフ上本町	高齢者施設(121室) 保育所、診療所、薬局	約3,800㎡	UR都市機構からの定期借地
Ⅱ街区	関電不動産㈱	エルセレーノ 上本町レジデンス	賃貸住宅(287戸)・店舗	約5,895㎡	UR都市機構からの定期借地 (民間供給支援型 賃貸住宅制度を活用)
Ⅲ街区	ディエイチ開発 桃坂(有)*	ロイヤルパークス 桃坂	賃貸住宅(144戸)・店舗	約3,044㎡	
Ⅳ街区	関電不動産㈱ 野村不動産㈱	上本町ヒルズマーク	分譲住宅(270戸)・店舗	約4,000㎡	UR都市機構からの土地譲渡

*：平成19年3月に大和ハウス工業㈱より地位譲渡

2. 「桃坂コンフォガーデン」の特徴

○医療連携のある街づくり

医療連携を実現する大きな柱のひとつがⅠ街区の医療・福祉施設です。Ⅰ街区にある「ウェルライフ上本町」には、当社グループ会社の「かんでんジョイライフ」による介護付き有料老人ホーム「ベルパージュ大阪上本町」に加え、クリニックモールが設けられています。モール内の診療所は、地区内や周辺居住者にかかりつけ医療を提供し、重症患者には赤十字病院への紹介状を発行します。一方赤十字病院は診療所からの検査依頼に応じる等の「病院連携」が行われており、住民は適切かつスムーズな治療を受けることができます。一方、病院側にも高度医療や救急医療に集中できるというメリットがあります。

ソフト面でもモール内診療所へのネット予約サービスの他、かんでんジョイライフがコンフォガーデンにお住まいの方を対象とした会員制の疾病予防、在宅看護・介護サービス「ナービス24」を開始しています。このサービスは、「疾病予防サービス」として検査結果等のデータを基に、看護師が会員の健康状態を確認し、アドバイスを行うとともに、緊急時の往診手配や会員個人々の健康相談を24時間対応のコールセンターで受付けるものです。さらに看護や介護が必要な会員には、「在宅看護・介護サービス」を提供します。

一般のマンションを対象としたこのようなサービスは全国でも初めてで、今後はコンフォガーデン以外にお住まいの方々にも順次拡大していく予定です。

こうした医療・福祉サービスによる街の魅力づくりが評価され、賃貸マンションはほぼ満室、さらに超高層マンションも全戸完売となっております。このプロジェクトは、当社グループ会社が計画、建設だけでなく完成後の様々なサービスについても、その運営に参画する初めての試みです。今回のプロジェクトでノウハウを蓄積し、オール電化や通信インフラはもちろん、医療・福祉サービスなど様々な高付加価値サービスをグループ一体でご提供することにより、街づくりをサポートしていきたいと考えております。

また当社グループでは、桃坂コンフォガーデン南側に隣接する大阪府筆ヶ崎住宅の建替にも参画しており、入居予定住民の方々の8割の賛同を得て、大阪府初のオール電化府営住宅278戸を建設することになりました。



た。同地点ではさらにオール電化分譲住宅267戸の建設を予定しているほか、近隣の病院もオール電化になるなど、桃坂コンフォガーデンを核として筆ヶ崎地域全体のオール電化を着実に推進していきます。

－桃坂コンフォガーデンの現況－



奥が大阪赤十字病院



正面左側がベルパージュ大阪上本町が入居するウェルライフ上本町

§ アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）講演会開催 『低炭素社会と都市』

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）では、去る5月26日に評議員会及び総会を開催し、その後に第1回講演会を開催しました。

今回のテーマは『低炭素社会と都市』と題し、当推進会議の会長である伊藤滋早稲田大学特命教授並びに小澤一郎早稲田大学教授にご講演をいただきました。

ルポール麹町で開催した講演会では、100名近くのご参加をいただき両教授のご講話に興味深く傾聴するなど盛況に実施することができました。

始めに、小澤教授から、脱温暖化プロジェクトやEUの再生可能エネルギー活用推進プログラム、スウェーデンのマルム、ロンドン、ハーグ、E-ON社などの事例紹介、低炭素社会づくりと都市計画の役割、排出権取引の課題などについて、パワーポイントなどを使用して講演を行っていただきました。



伊藤会長からは、マイクログリッドによるエネルギーシステムの理想像である都市・エネルギー・パッケージ例、都市計画的な低炭素化の構想、低炭素化社会の実現には法改正や各戸の取組みから始めることが重要でその中心はソーラーであり、また、その活用方策についてなどのご講演をいただきました。

当日は全国から数多くのご参加をいただきました。お忙しいなか、ご参加いただいた皆様に御礼申し上げます。





§ 機構の活動状況

日	5月	日	6月
12	木更津市と意見交換	5	トヨタ財団と意見交換
13	相模原市と意見交換	5	(社) 日本奇術協会と意見交換
16	東京都宛に品川新拠点研究会成果報告&意見交換	9	平成20年度土地活用モデル大賞第1回審査委員会
22	新宿区と意見交換 (歌舞伎町再開発)	10	東京海洋大学宛に品川新拠点研究会成果報告&意見交換
30	まちづくり交付金情報交流協議会企画運営委員会	12	評議員会
		15	港区宛に品川新拠点研究会成果報告&意見交換
		16	理事会
		18	平成20年度第1回都市みらい講演会

【機構関係諸団体】

《インテリジェントシティ整備推進協議会》

9	平成19年度監事監査	9	平成19年度監事監査
---	------------	---	------------

《地方の拠点まちづくり協議会》

13	幹事会		
16	平成19年度監事監査		

《都市地下空間活用研究会》

21	企画運営小委員会	2	八重洲・京橋・日本橋地区分科会幹事会
30	企画運営委員会	3	平成19年度監事監査
		18	評議員会・総会
		23	八重洲・京橋・日本橋地区分科会幹事会
		10	国土交通省打合せ

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

26	評議員会		
26	第21回通常総会		
26	第1回定例講演会		

《まちづくり交付金情報交流協議会》

21・22	まちづくり交付金情報交流協議会監査		
30	まちづくり交付金情報交流協議会企画運営委員会		

§ 人事異動のお知らせ

【退任】(6月15日付)

常務理事 岡水 照磨

【新任】(6月16日付)

常務理事 北山 和雄

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2

アベニュー音羽3階

電話 03-5976-5860

FAX 03-5976-5858

Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧ください
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他